

## ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド - バングラデシュ現地レポート 第2弾！



## 【現地レポート】バングラデシュ人民共和国って、どんな国？～企業編①～

世界経済の中で高い成長率が期待され、先進国・新興国という区分を超えたフロンティア市場。次世代の新興国市場とも言われるフロンティア各国の中でも、アジアフロンティア市場を主な投資対象とするのが「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」(以下、当ファンド)です。

第2回目は、前回に引き続きファンド・マネジャー自身が撮影した写真とともに、バングラデシュに拠点を置く企業の情報を、実際の株価チャートなども交えてご紹介します。

※以下の内容は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託(円建て)「ハーベスト アジア フロンティア エクイティ ファンドクラス」受益証券(以下、ハーベスト AF エクイティ ファンド)を運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドのファンド・マネジャーのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

私どものアジア・フロンティア市場への投資は、消費やインフラといった投資テーマに焦点を当てています。なぜなら人口動態や所得水準の向上が、最終的にアジア・フロンティア諸国の経済成長の主な原動力となるからです。今回は「ハーベスト AF エクイティ ファンド」が保有するバングラデシュ銘柄のうち主な2銘柄、①ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・バングラデシュ(以下、ブリティッシュ・アメリカン・タバコ)及び②パタ・シューズ・バングラデシュ(以下、パタ・シューズ)をご紹介します。

ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド - バングラデシュ現地レポート 第2弾！

① プリティッシュ・アメリカン・タバコ

バングラデシュにおいては、所得水準が向上してタバコが普及した結果、タバコの消費が増えています。現在の喫煙人口は、1億5,000万人を超える総人口のうち、30%程度にまで普及しました。なお喫煙者の約60%が男性、1日当たりの喫煙本数は7本程度と推定されています。

所得水準の向上に伴い、タバコの消費拡大や製品の品質改善が自然に起きています。バングラデシュのタバコ市場が有機的な高成長を実現する可能性があることから、プリティッシュ・アメリカン・タバコは引き続き、同市場の開拓に焦点を合わせています。

低価格品分野のタバコの平均小売価格は安定的に推移している一方、高級品に分類されるタバコの平均小売価格は徐々に上昇しています。同社は、タバコの生産能力を15%増強する設備投資を計画しており、2014年後半に開始する予定です。



※欧米諸国の大都市では路上喫煙が禁止される傾向がありますが、バングラデシュではタバコを提供する道路脇の商店の周りに人々が集まる光景が良く見られます

ご紹介する個別銘柄は、ファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。

ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド - バングラデシュ現地レポート 第2弾！

② バタ・シューズ

バタ・シューズは、261 の販売店舗を持つなどバングラデシュで最も広範な小売販売網を有している靴の専門店です。国内売上高で約 25% の市場シェアを獲得しています。また、同社は、米国のカジュアル靴ブランドであるハッシュパピーやナイキといった製品に関して、バングラデシュで唯一の販売業者でもあります。

同社の販売店のうち 70 店舗については、不採算店の合理化や既存店の改装が行われる見通しですが、2013 年には既に 20 店舗が改装されており、これらの内装が刷新された店舗の売上高の伸びは、前年比で大きくプラスになっています。

バングラデシュの靴の平均販売価格が 800 バングラデシュ・タカ (約 1,050 円) となっているのに対して、同社の靴の販売価格帯は 2,000 タカから 12,000 タカ (約 2,640 円から約 15,810 円) と、広いレンジに及んでいます。バングラデシュで輸入される原材料については課税されますが、同社はそうした輸入コストを直接販売価格に転嫁出来るでしょう。

同社は都市部において中間層向けブランドの取り扱いを増やしているほか、新たに床面積 2 万平方フィートの大型店を増加させており、前年に続き、2014 年には店舗数を 36 店拡大させる予定 (2013 年は 26 店舗増) です。同社の経営陣は、今年、販売数量が前年比 +5% 伸び、販売価格が同 +10% 上昇すると予測しています。



※バタ・シューズの店舗外観とショーウィンドウ

ご紹介する個別銘柄は、ファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。

## ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド - バングラデシュ現地レポート 第 2 弾！

バングラデシュ現地レポートシリーズの第 2 回目として、今回は「バングラデシュ人民共和国って、どんな国？～企業編①～」をお届けしました。第 3 回目ではブリティッシュ・アメリカン・タバコ及びバタ・シューズ以外の現地企業の情報をご紹介します。引き続きよろしくお願い申し上げます。

※本資料は、SBI アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。

※本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。

ファンドの費用	
購入時手数料	購入申込金額に 3.24% (税込) を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額となります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して 0.3% を乗じて得た額を、ご換金 (解約) 時にご負担いただきます。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年 1.4472% (税抜: 年 1.34%) を乗じて得た金額とします。なお、当該報酬は、毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。この他、投資対象とする外国投資信託証券の信託報酬等、年 0.65% を加えた実質的な負担 (概算値) ※は 年 2.0972% 程度となります。 ※本ファンドが投資対象とする投資信託の信託報酬を加味した、投資者の皆様が実質的に負担する信託報酬率になります。
その他の費用及び手数料	ファンドの監査費用 ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等 (有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等) が信託財産から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。
その他	※上記費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
ファンドにかかるリスクについて	
<p><b>【基準価額の変動要因】</b> 本ファンドは、主に投資信託証券への投資を通じて株式などの値動きのある証券等 (外貨建資産には為替変動リスクもあります。) に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。特に、本ファンドは投資信託証券への投資を通じて実質的にフロンティア諸国の株式等への投資を行います。一般的にフロンティア市場への投資は、先進国市場への投資に比較して、カントリーリスクや信用リスク等が高くなります。したがって、基準価額が大きく下落し、非常に大きな損失を生じるおそれがあります。本ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。本ファンドの基準価額は、主に以下のリスクにより変動し、損失を生じるおそれがあります。ただし、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。</p> <p>&lt; 主な変動要因 &gt;</p> <p><b>株価変動リスク</b> 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります (発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。)。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。</p> <p><b>為替変動リスク</b> 外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動の他、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向にすすんだ場合には、基準価額が下落する要因となります。</p> <p><b>カントリーリスク</b> 投資対象国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合などには、有価証券等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額に影響を受け損失を被ることがあります。特に、本ファンドが実質的に投資するフロンティア市場には、一般に先進国の市場に比べ、規模、取引量が小さく、法制度 (市場の法制度、政府の規制、税制、外国への送金規制等) やインフラストラクチャーが未発達であり、低い流動性、高い価格変動性、ならびに決済の低い効率性が考えられます。また、発行者情報の開示等の基準が先進諸国と異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分確保できないことがあります。このように、フロンティア諸国への投資については、一般的に先進国への投資に比べカントリーリスクが高くなります。</p>	

## ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド - バングラデシュ現地レポート 第2弾！

### 信用リスク

投資した株式について、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化は価格下落要因のひとつであり、これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、フロンティア諸国の株式は、先進国の株式に比べ、相対的に信用リスクが高くなると考えられます。

### 流動性リスク

投資者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがあります。その際、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。特に、フロンティア諸国の株式は、先進国に比べ、相対的に流動性リスクが高くなると考えられます。

### 《投資信託ご購入の注意》

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。



委託会社 SBIアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号

加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会